

ともに生きる 共生

バリバラ

BLACK IN BURAKU アフリカンアメリカン、 被差別部落をゆく(前編・後編)

放送日:2020年2月6日、13日 放送時間:29分×2本



対象校種 中学 高校

対象教科 総合 社会 公民 学級活動

この番組の良さ

● 当事者の本音トークが心に響く

バリバラは、「生きづらさを抱えるすべてのマイノリティー」としての“バリア”をなくす、みんなのためのバリアフリー・バラエティー番組です。演者が笑いの要素を織り交ぜ、当事者たちが本音トークで、多様性のある社会を目指し語り合います。本音トークが視聴者の心に響き、地域に暮らしてきた人たちの思いに触れることができます。

番組では、同じく被差別の歴史を持つアフリカ系アメリカ人たちが大阪市内の部落をたずね、地域に暮らしてきた人たちの思いに触れます。様々な視点からのコメントが、差別の本質について考えるきっかけとなります。

● 伝統芸能や食文化などから 部落の歴史について理解を深める

番組では、被差別部落の料理や太鼓・三味線などの芸能をはじめ、社会に貢献してきた部落の歴史について、文化の面から学びを深めることができます。

身分制度による差別から食肉や皮などを扱う仕事を与えられる中でも、革製品を扱う職人としての誇り持ち、技術を向上しようとする意識が、今の日本の文化や技術につながっていると実感できる番組です。

番組活用のポイント

● アフリカ系アメリカ人の視点から 被差別部落について考える

番組の冒頭に、「被差別部落ってどんなイメージ？」とインタビューするシーンがありますが、「学校で習った歴史上の出来事」、「言っではいけない、触れてはいけない問題」、「閉鎖的な感じ」、「パンドラの箱」、「今は、差別はほとんどない」といったような返答が返ってきます。被差別部落のマイナスイメージやマイノリティーの生きづらさが、今も残る大きな課題として学びの導入になります。

「部落民もそうでない人も同じ日本人」、「民族も国籍も外見上も違いがない」、「同じ日本人なのにどうして差別がありますか？」など、日本に住む差別を受けた歴史を持つアフリカ系アメリカ人からのコメントが、学びを深めるきっかけとなり、様々な切り口での学びの機会を与えてくれます。

番組前編では、二人のアフリカ系アメリカ人が、生まれも育ちも浪速の浅井さんの案内で部落とされる地域を訪れます。最初に部落とされる地域とそうでない地域の境界が映像で映し出されますが、一見マンションが建ち並ぶ住宅街で何の変哲もありません。浅井さんの話から、約15年前までは橋を境に北と南で土地の価格も違う状態であり、北と南の行き来では、差別を感じていたことが分かります。「現在では露骨だった差別の質が無意識の差別に変わってきている。このことはアメリカで黒人が経験していることと似ている」とコメントします。今も残る差別に対して、社会の移り変わりを踏まえ考えを深めていくことができます。

● 太鼓づくりや部落発祥といわれる料理から 多面的な理解を深める

番組後編では、太鼓チームの結成による演奏の場面があります。太鼓を作ることだけだったのが、最近では太鼓チームによる演奏へと変わってきています。皮革の仕事で皮を製品化するだけでなく、皮革の流通センターを設置し輸出するなど大規模なビジネスを行っていた歴史を知ることができます。また、アフリカ系アメリカ人の二人が地域の居酒屋(飲食店)を訪れますが、メニューにある肉の煮ごり、さいぼし、油カスなどが、差別の結果としてこのような部落発祥グルメができたことがわかります。コメンテーターの部落発祥と言われるさいぼしや油カスにまつわる差別の悲しい体験談や映像から、差別一被差別だけではない被差別部落の歴史とその背景について正しく理解するだけでなく、仕事への誇りなど学習を通して自分の生き方を見直す機会となります。



執筆者

大分県立津久見高等学校

指導教諭 森 浩三

学習展開例

対象校種 中学 高校

対象教科 総合 社会 公民 学級活動

アフリカ系アメリカ人の視点から学ぶ

[授業時間 50分×2本] まるごと視聴
(前編 後編を分けて授業する)

学習者の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<p>学校の授業 TV ラジオ インターネット 友達 近所の人 パンフレット等 知らない</p> <p>日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分階層構造に基づく差別であり、日常生活の上で様々な差別を受けるなど、我が国固有の重大な人権問題である</p>	<ul style="list-style-type: none"> 同和問題(部落差別問題)を知ったきっかけは何か、数人に聞く。 「知らない」以外の回答した生徒に、どのような問題なのか聞く。 法務省のHPより、どのような問題なのか現在はどうなのかを確認する。
<p>今なお、こうした人々に対する差別発言、差別待遇等の事案のほか、差別的な内容の文書が送付されたり、インターネット上で差別を助長するような内容の書き込みがなされるといった事案が発生しているのはなぜだろうか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> なぜ今も差別事案が起きているのか？問題を投げかけ番組前編を視聴する。
<p>番組(前編)をまるごと視聴する</p> 	<ul style="list-style-type: none"> アフリカ系アメリカ人のコメントに着目する。
<ul style="list-style-type: none"> 今も生きづらさを抱えて生きている人たちがいっぱいいる 部落問題がタブー視されている ネットへの書き込み(虚偽の情報拡散) 露骨だった昔からの差別の質が変わってきている 	<ul style="list-style-type: none"> 番組内の出演者のコメント、アフリカ系アメリカ人のコメントを抜き出し、差別の現状を板書し確認する。
<p>結婚差別について、恋愛や結婚はどうしたらよいのだろう？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今も残る結婚差別の現状について、自分の考えなど意見交換する場を設定する。できる限り様々な意見を出し合うため、フリートークとする。
<p>当人同士の問題では？ 親にも祝福されたい 親を説得するべきでは？ 第三者に相談する等</p>	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな意見から、自分の差別に対する姿勢や考え方、他人の人権についてなどを教材プリント(ノート)にまとめるよう促す。
<p>被差別部落の問題は今も残っている。今もいろんな形で差別事案が発生している。私たちは、「私には関係ない」とか「一部の人の問題」など無関心でいるのではなく、この問題を自分に関わりのある問題と捉え、自分自身の意識や態度、行動について考えていかなければならない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 正しい認識を持ち、それを自分のこととして考え、差別をなくすための行動ができるようになるには？など問題提起する。
<p>今、私たちにできることは何だろうか？ まずは被差別部落に関わるたくさんの方のを知ろう</p>	<p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 被差別部落の問題を自分に関わりのある問題として捉え、学びを深めようとしている。
<p>被差別部落の歴史を知る 部落の仕事について知る 部落発祥の料理や太鼓など文化を知る 同和対策事業について知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> 番組後半を使って展開するとよい
<p>アフリカ系アメリカ人の視点から学ぶ後半へつなげる</p>	